

令和6年度 袋井あやぐも学園 幼小中一貫教育 グランドデザイン

学園教育目標

夢を追い続ける子供の育成

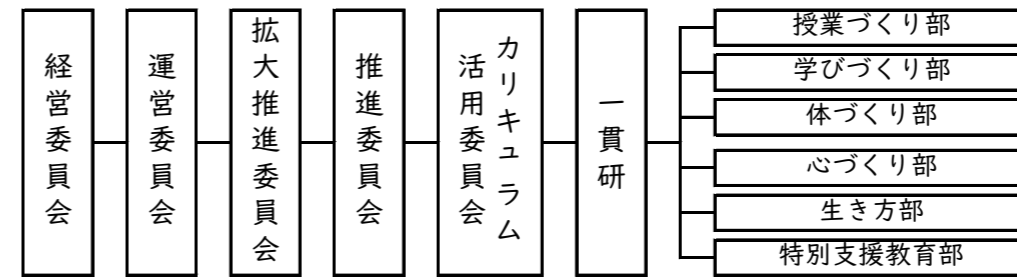
構成校・園

袋井中 袋井東小 袋井西小 袋井北小 今井小（連携校） 袋井東幼 袋井西幼 田原幼 若葉こ 若草こ
 ◆主な連携校 袋井あそびこ 明和第二保 めいわ可睡保 たんば第二保 どんぐり MOE保育園てんじん園

学園が目指す子供像

- 「自主（Iの力）」-自立力
学習や生活、諸活動のそれぞれに目標を立てて、実現に向かう努力を怠らず、自分を鍛え続ける姿
- 「協同（Weの力）」-社会力
集団の一員として自分の役割を自覚し、人のために一生懸命汗を流す姿

推進体制



【評価指標・目標値】

「あてはまる」の割合	(小6/中3)
「学校が楽しい」	(70 / 65)
「みんなで何かするのが楽しい」	(75 / 75)
「授業に主体的に取り組んでいる」	(55 / 55)
「授業がよく分かる」	(55 / 40)

学園経営目標

幼小中一貫カリキュラムにより自主（Iの力）と協同（Weの力）を育成する学園

推進のための基本方針

- 学園カリキュラムで目指す姿を共有する
- 一貫研と組織(カリキュラム活用委員会・拡大推進委員会)で教職員をつなぐ
- 子供理解(振り返り個票、個別の教育支援計画・指導計画等)により指導をつなぐ
- 一貫研・学園(学校)運営協議会で学校と地域をつなぐ はごろも夢講演会で子供観を共有する

施設分離型 幼稚園・こども園・保育園・中学校をつなげる
 「共有する子ども観」と「手立て」

一貫性を持たせた教育指導・取組の要点
 (6つのアクションプラン)

子ども一人一人にとって「魅力ある学校・園づくり」(絆・居場所づくり)

聞く指導・ボイスシャワー

幼保小架け橋プログラム (アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム)
 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養
 生きて働く知識・技能の習得 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力

お互いの良さや違いを認め合いながら、「豊かな未来」を創造しようとする意欲を育成する 共生・共育	授業づくり 主体的に考えたり、次の学びを求めたりする子を育成する	・学びの見通しが持てる課題設定 ・思考を働かせる時間の設定 ・わかったできたと実感できる振り返り活動	<幼稚園・保育園> ・思考力のめばえを支える遊びの充実 ・遊びや生活の中での気づき ・遊びの振り返りの設定	<低学年> 小 ・「？」型の課題設定・課題を解決するための必要感が感じられる導入場面 ・学習課題に対するまとめの時間の設定 ・自分の言葉で振り返らせる視点の明確化	<中学年> 中 ・「？」型の課題設定・生徒の振り返りを生かし、課題を解決するための必要感が感じられる課題設定 ・課題解決への取組と学習内容の理解を評価表で振り返る	主体性・自己有用感
	学びづくり 「話す」「聞く」を大切に、他者と協働したり、家庭の学びを充実させたりしながら主体的に学習する態度を養う	話す・聞く 家庭の学び	自分の思いを言葉で伝える / 相手の思いを言葉で伝える / 相手の話を意識して聞く / 相手の話を意識して聞く / 相手の話を意識して聞く / 相手の話を意識して聞く	主体的に学びに向かう態度を身に付ける 遊び・楽しさを家庭で共感する / 取組み方(型・ルール)を振り返る / 自学の内容と一緒に考える / 授業の学びを生活に生かす / 外発的・内発的動機付けから学ぶ	相手の意見とつなげながら話す / 相手の意識して聞きたい話の方で話す / 相手の話と自分の考えを比べながら聞く / 相手の考えを引き出す効き方で聞く	
	体づくり 「体を動かすことを楽しむ子」を育てることを通して、良好な人間関係を築く力や目標に向けて努力し続ける力を育てる	静 温	「あそび」を通して体を動かすことを楽しむ / 「できた」を増やしながら体を動かすことを楽しむ / 協力して体を動かすことを楽しむ / 目標達成に向けて、考えながら自己の目標に合わせて、努力を積み重ねるために体を動かすことを楽しむ	周りの友達と生活できる(個) / ルールを知り、周りの友達と生活できる(公) / よく考えて行動し、ルールに従って生活できる / よく考えて行動し、ルールに従い責任を持って生活できる / TPO(時・所・場所)を考え、相手の立場を尊重してマナーを守る		
	心づくり 「静をつくる」「温をつくる」という活動を通して、規範意識や思いやりの心を育てる	交流・協働 未来の袋井	自分や周りのもの・ひとを大切にできる / 周りの人に親切にすることができる / 周りの人に進んで関わり親切にすることができる / 相手の立場や気持ちを考えた関わりを持つことができる / 周りの人に感謝の気持ちを持ち他の人に対し、親切にすることができる	友達と一緒に生活や遊びに必要なことを考え、やってみようとする / 自分と友達との違いに気づき、その違いを大切にしながら交流する / お互いの良さを認め合い、良さを生かした活動・交流をする / 自分が大切にしていることや、友達が大切にしていることを知ろうし、お互いに異なる価値観を大切にしながら一人一人が活躍する		
	生き方 自他の良さを認め、「なりたい自分に向かって歩む子ども」を育成する	身近な人や地域に親しみ持つ / 身近な地域に触れ、地域を知る / 袋井市の良さを見付け、発信する / 袋井市の良さを実感し、自分の未来を描き何をしたいのかを考え、行動する(人・もの・こと)	特別支援教育 誰もが十分に発揮できる教育環境を目指し、「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を活用することで、園児・児童・生徒の自立力・社会力を育てる			